

別添 3

自然環境整備計画の目標の達成状況等の評価

都道府県名		島根県		個別地域名		比婆道後帝釈国定公園、西中国山地国定公園、中国自然歩道			評価年度	令和 7 年度
事業実施期間		令和 元 年度～令和 5 年度				事業費		409,445 千円		(うち国費 183,197 千円)
事業の実施内容		①国定公園 ・西中国山地国定公園 裏匹見峡線道路（歩道）事業【被災した歩道施設の再整備】『益田市・県営』 ②長距離自然歩道 ・千丈溪モデルコース（歩道）再整備事業【被災した歩道施設の再整備】『江津市/邑南町・県営』 ・双川峡モデルコース（歩道）再整備事業【落石対策】『益田市・市営』 ・断魚溪周遊モデルコース（歩道）再整備事業【被災した歩道施設の再整備】『邑南町・町営』 ・畳ヶ浦・国府海岸モデルコース（歩道）再整備事業【被災した歩道施設の再整備】『浜田市・市営』 ・旅伏山・鰐淵寺モデルコース（歩道）再整備事業【老朽化した歩道の再整備】『出雲市・県営、市営』 ・立久恵峡周遊モデルコース（歩道）再整備事業【老朽化した歩道の再整備】『出雲市・県営、市営』 ・匹見峡・安蔵寺山コース（歩道）再整備事業【老朽化した歩道の再整備】『益田市/津和野町・県営』 ・鬼の舌震周遊モデルコース（歩道）再整備事業【老朽化した歩道施設の再整備】『奥出雲町・町営』								
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況		【目標】 ・中国自然歩道の施設の再整備に対する指標とし、基準年から1万2千人の利用者増加を目指した。 【効果の発現状況】 ・再整備によって施設の安全性や利便性は向上したが、中国自然歩道利用者数は減少した。							
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指 標	単位	定 義	従前値	目標値	達成値	達成値の評価	
						基準年度	目標年度	達成年度		
			中国自然歩道利用者数	千人／年	中国自然歩道の利用者数	526	538	371		施設の整備は進んだが、利用者数は目標に達しなかった。計画期間中はコロナ禍の最中であつたが、達成年度の利用者数は、コロナ禍前の水準に戻っていない。また、夏の猛暑、春から秋にかけてのツキノワグマの出没も利用者数に影響していると考えられる。
						平成28年度	令和5年度	令和6年度		
		その他の指標								
整備に伴う取り組みの実施状況		令和3年災害等で被災した歩道施設を復旧するとともに、老朽化した歩道施設の再整備を行った。計画期間中に整備を行った「鬼の古震・吾妻山周遊コース」の一部はテレビドラマのロケ地となり、放送された令和5年度の利用者数が大幅に上昇した。								
今後の取り組み		関係自治体等と施設改修計画要望等の情報を共有して適切な整備を行い、利用者の安全性及び利便性の向上を図る。								